

表-2 2012 基準対応 学習・教育到達目標の達成度評価方法と評価基準（その1）

学習・教育到達目標		JABEE 基準 1 (2)(a) ～(i)と の関連	評価方法		
			評価対象科目		評価基準
(1-1) 工学基 礎知識	(1-1-1) 数学の基礎知識を修得し、応用できる素養を身につける	◎(c) ◎(d)(1)	(数学系) 微分積分学Ⅰ (◎) 微分積分学Ⅱ (◎) 確率統計学 (◎) 線形代数Ⅰ (◎) 線形代数Ⅱ (◎) 微分方程式Ⅰ (◎) 微分方程式Ⅱ (◎)	「数学系」の中から4科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	18 単 位以上 取得す ること
	(1-1-2) 物理学あるいは化学の基礎知識を修得し、応用できる素養を身につける	◎(c) ◎(d)(2)	(物理・化学系) 基礎物理学Ⅰ (◎) 基礎物理学Ⅱ (◎) 基礎化学Ⅰ (◎) 熱力学 (◎)	「物理・化学系」の中から2科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	
	(1-1-3) 情報技術の基礎知識を修得し、応用できる素養を身に付ける	◎(c)	(情報技術系) 情報基礎 (◎) 情報処理 (◎) 数値解析学 (◎) オペレーションズリサーチ 基本情報技術概論Ⅰ	「情報技術系」の中から1科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	
			(工学基礎系) システム創成学概論 化学反応速度論		

科目名の後の (◎) は主体的に関与する科目であることを表す。

科目名の 四角 は必修科目であることを示す。

JABEE 基準の前の◎は主体的に含んでいることを表す。

表－２ 2012 基準対応 学習・教育到達目標の達成度評価方法と評価基準（その２）

学習・教育到達目標		JABEE 基準 1 (2) (a) ～(i)と の関連	評価方法	
			評価対象科目	評価基準
(1-2) 専門基 礎知識	(1-2-1)地盤・地震工学 の基礎知識を修得し、 応用できる素養を身 につける	◎(d)(3)	(地盤・地震系) 地圏科学Ⅰ (◎) 地圏科学Ⅱ (◎) 地盤力学Ⅰ (◎) 地盤力学Ⅱ (◎) 地盤力学Ⅲ (◎) 地震学 (◎) 建設振動工学 耐震・地震工学	「地盤・地震系」の中 から3科目以上を履 修し、各科目の教育目 標を達成すること
	(1-2-2) 力学一般およ び構造・材料工学の基 礎知識を修得し、応用 できる素養を身につ ける	◎(d)(3)	(構造・材料系) 力学基礎 (◎) 工業力学 (◎) 構造力学Ⅰ (◎) 構造力学Ⅱ (◎) 構造力学Ⅲ 建設材料工学 (◎) コンクリート工学Ⅰ (◎) コンクリート工学Ⅱ (◎)	「構造・材料系」の中 から4科目以上を履 修し、各科目の教育目 標を達成すること
	(1-2-3)水理・環境学の 基礎知識を修得し、応 用できる素養を身に つける	◎(d)(3)	(水理・環境系) 水理学Ⅰ (◎) 水理学Ⅱ (◎) 水圏防災減災工学 (◎) 環境保全マネジメント 基礎生態学 環境アセスメント 環境まちづくり	「水理・環境系」の中 から3科目以上を履 修し、各科目の教育目 標を達成すること
	(1-2-4)計画学の基礎 知識を修得し、応用で きる素養を身に付け る	◎(d)(3)	(計画系) 地域・都市計画 (◎) 計画数理 (◎) 交通システム 建設プロジェクト (◎) 建築学概論 測量学Ⅰ (◎)	「計画系」の中から3科 目以上を履修し、各科 目の教育目標を達成 すること

32 単  
位以上  
取得す  
ること

表－２ 2012 基準対応 学習・教育到達目標の達成度評価方法と評価基準（その３）

学習・教育到達目標		JABEE 基準 1 (2) (a) ～ (i) と の関連	評価方法		
			評価対象科目	評価基準	
(2-1) 課題探 求・解 決能力	(2-1-1)自ら課題を見出し、その解決に取り組むためのデザイン能力を育む	◎(e)	(課題探求系 1) テーマ研究Ⅱ (◎) テーマ研究Ⅲ (◎)	「課題探求系 1」の中から 2 科目を履修し、各科目の教育目標を達成すること	13 単 位以上 を取得 するこ と
	(2-1-2)課題に計画的に取り組む、解決する能力を育む	◎(h)	(課題探求系 2) 卒業研究 (◎) (実験・実習系) 工学入門セミナー 建設工学実験 (◎) 測量学実習 (◎)	「課題探求系 2」および「実験・実習系」の中から 2 科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	
(2-2) 自主的 ・継続 的学習 能力	自主的、継続的に学習できる能力を育む	◎(g)	(学習継続系) テーマ研究Ⅲ (◎) 卒業研究 (◎) (演習系) テーマ研究Ⅱ (◎) 微分積分学演習 (◎) 確率統計学演習 (◎) 数値解析学演習 (◎) 基本情報技術概論Ⅰ演習 景観設計演習 建設工学演習 (◎) 建設工学製図 (◎)	「学習継続系」および「演習系」の中から 4 科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	12 単 位以上 を取得 するこ と
(2-3) 日本語 能力	日本語による論理的な記述力、発表および討議などのコミュニケーション能力を育む	◎(f)	(日本語能力系) テーマ研究Ⅰ (◎) テーマ研究Ⅱ (◎) テーマ研究Ⅲ (◎) 卒業研究 (◎)	「日本語能力系」の中から 4 科目を履修し、各科目の教育目標を達成すること	12 単 位を取 得する こと

表－2 2012 基準対応 学習・教育到達目標の達成度評価方法と評価基準（その4）

学習・教育到達目標		JABEE 基準 1 (2) (a) ～ (i) と の関連	評価方法		
			評価対象科目	評価基準	
(3-1) 社会性	社会に対する深い理解と技術者倫理の素養を身に付ける	◎(b)	(教養系) 人文・社会・外国語系科目(必修を除く)	「教養系」の中から12単位以上を取得すること	20 単位以上を取得すること
			(技術者倫理系) テーマ研究Ⅰ (◎) 卒業研究 (◎) 建設工学概論 (◎) 建設史・建設行政 (◎) インターンシップ (◎) 建設技術者と社会 (◎) 科学技術と知的財産	「技術者倫理系」の中から3科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	
(3-2) チームワーク	共同して課題に取り組み、対応する能力を育む	◎(i)	(共同作業系) 建設工学実験 (◎) テーマ研究Ⅱ (◎)	「共同作業系」の中から2科目を履修し、各科目の教育目標を達成すること	5 単位を取得すること
(4-1) 英語能力	英語でのコミュニケーション能力の素養を身に付ける	◎(f)	(英語) 英語 (必修) (◎) (英語素養系) テーマ研究Ⅲ (◎) 卒業研究 (◎) 科学技術英語 (◎)	英語8単位を取得すること 「英語素養系」の中から2科目以上を履修し、各科目の教育目標を達成すること	16 単位以上を取得すること
(4-2) 多面性・国際性	諸外国に関する理解を増進し、多面的に物事を考える能力と国際的に活躍できる素養を身に付ける	◎(a)	(教養系) 人文・社会・外国語系科目(必修を除く)	「教養系」の中から12単位以上を取得すること	20 単位以上を取得すること
			(国際性系) テーマ研究Ⅲ (◎) 卒業研究 (◎)	「国際性系」の中から2科目を履修し、各科目の教育目標を達成すること	